



長崎市立手熊小学校だより

第 11 号

# 舞 岳 お ろ し

令和 5 年 7 月 4 日

校 長 高木留美子

## RENEWAL 手熊っ子～学校評価について

毎年実施させていただいております【学校評価】ですが、今年度から紙媒体ではなく、QR コードを用い、スマートフォン、または子供たちが持ち帰っている学習端末(クロムブック)でできるようにRENEWALしました。児童についても学習端末で実施いたします。また、質問内容についても分かりやすいように改訂いたしました。お忙しい中申し訳ありませんが、ご回答のご協力をお願いいたします。なお、質問内容などご不明な点はご遠慮なく学校(担当 教頭 841-0104)までおたずねください。(別プリントでもお知らせしています。)

非常食には羊羹がいいのだそうです。カロリーが高く  
災害時に 5 年保存できるものもあるようです。災害時  
に貴重な甘い物として備えておくといいですね。

### 校長のひとりごと～避難訓練で・・・

7月3日に地震・津波を想定した避難訓練を実施いたしました。子供たちは、「お・は・し・も」(おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない)の約束を守り、短時間で避難することができました。

最近、速報などで地震が起こったというニュースが流れてくることが多いです。子供たちも実際に見たことがあると反応していました。校長からの話の中で、『日本及び日本の周りで起こった体感できる地震が昨年1年間で何回ほど起こったか』という質問を子供たちにいたしました。(3 択 ①20 回②200 回③2000 回) ②を選択した子供が多かったのですが、実は③が正解だそうです。長崎は比較的地震が起こりにくい土地のようなので、私も地震で怖い思いをした経験がありません。しかし、九州でも地震が頻発していることを考えると、災害時の準備について考えさせられます。

前の勤務地でのことです。台風時に私が住んでいた近くの川が氾濫しそうになり、生まれて初めての避難を経験しました。真夜中に市役所から放送があり、「近くの避難所に早急に避難してください！」とのことだったのですが、知らない土地ということもあり、とても不安でした。しかも、万が一のことを考えて一応カバンに着替えなどを詰めてはいたのですが、いざ避難所へ行くと足りない物だらけでとても不自由でした。避難してきた人の中には、簡易ベッドや非常食、毛布やランタンなどを持参している方もおられ、日頃から備えることの大切さを痛感しました。その経験を生かし、我が家では一人1つずつ避難するときの【持ち出し袋】を準備しています。できれば使うことがないようにしたいものですが、「備えあれば憂いなし」です。実際に私の【持ち出し袋】を見せながら説明しましたが、子供たちは避難するときに必要なものが何であるのかよく理解していました。是非、機会を見つけて御家庭で災害時の避難について話し合われてはいかがでしょうか。